



サルビア

令和元年12月23日 第49号

冬休み中もインフルエンザに注意して 元気に3学期を迎えましょう

～「群馬県伊勢崎市の小学校における季節性インフルエンザ調査報告書」より～

保護者の皆様には、日頃から児童の健康管理にご留意いただき感謝申し上げます。また、過日の授業参観の際には、マスク着用にご協力いただきありがとうございました。

さて、昨年度、保護者の皆様にご協力いただいた、上記インフルエンザ調査(*注)の報告書が、伊勢崎市教育委員会を通して学校に送付されましたので、一部抜粋して概要をお知らせします。

(*注) 群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 内田満夫准教授が市内全小学校(23校)で実施

【結果概要】

- 1 対象・・・伊勢崎市の全小学校23校の児童 11,684人
- 2 発症者数(発症割合)・・・市:2,789人(23.9%)、本校:67人(18.9%)
- 3 個人のインフルエンザ発症に影響する因子
 - ・学 年:高学年ほど発症割合が低かった。(経年的な免疫の獲得割合の上昇による)
 - ・性 別:女兒は男子より約10%発症割合が低かった。
 - ・基礎疾患:基礎疾患を有する児童は20%ほど発症割合が高かった。
 - ・ワクチン:接種した児童は発症割合が20%ほど低かった。
- 4 学校における初発例(各校の最初の発症者23人)の感染元と推察

家 族	47.8%
買い物	21.7%
その他	21.7%
学 校	4.3%
バス電車	4.3%

学校別に流行を引き起こした初発例(最初の発症者)がどこから感染したかを調べた結果、家族からという回答が最も多く、11人(47.8%)だった。次いで多かったのは買い物で5人(21.7%)だった。これらの結果より、正月休みに家族や外出先でインフルエンザが伝播され、それを学校に持ち込んで1月以降の流行を引き起こしたと考えられる。

エコキャップを集めています

本校では、環境教育(CO₂削減、再資源化)、福祉・人権教育(障がい者の雇用創出、医療支援)の観点から、エコキャップを集める活動をしています。集めたエコキャップは、児童委員会活動を通してNPO法人エコキャップ推進協会に送っています。これまでの送付累計個数は159,057個になりました。今後とも活動を継続していきますので、ご協力をお願いします。



- ・エコキャップ以外のふたは該当しません。
- ・汚れたキャップは洗ってください。
- ・キャップのシールはとってください。

